

# 鉄道友の会埼玉サークル50年にあたって

埼玉県内にも鉄道友の会の組織をと1970年(昭和45年)2月に、第1回例会を浦和市(現さいたま市浦和区)の母子福祉会館で開催した埼玉サークルが、50年を迎えることになりました。

50年にあたり創立から発展に係わられた方々を偲びます。

2020年(令和2年)2月

鉄道友の会埼玉サークル創立メンバーの一人として 藤岡 裕

# 野中純爾さん (1943-2007)

埼玉サークルを発足させようと提案、行動され、初代の埼玉サークル東京支部委員を務められました。

例会の司会に、見学会の案内にと大活躍されていた姿をご記憶の方もおられると思います。

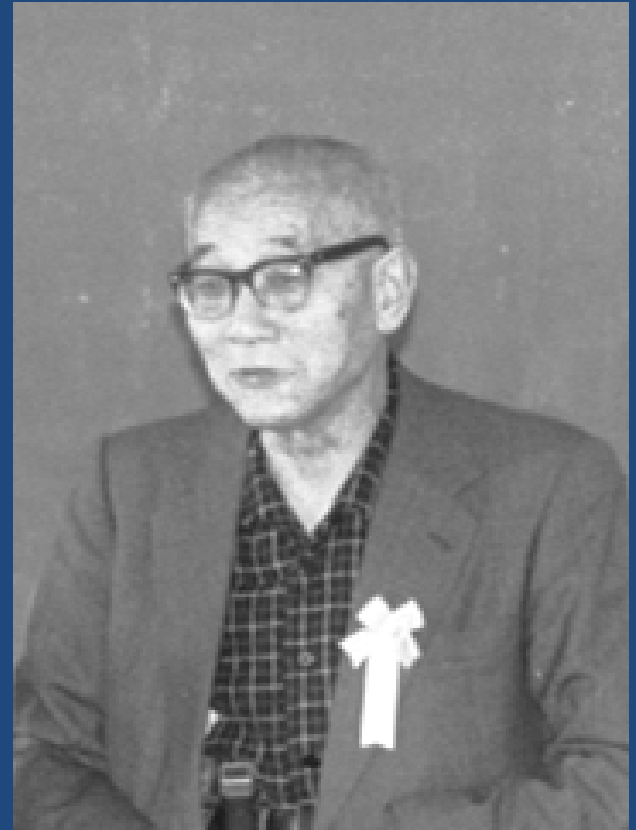
毀誉褒貶相半ばする人ではありましたが、この人がいなければ埼玉サークルはなかったかもしれせん。



# ヨシダシズオさん（1908-1997）

野中さんの呼びかけに応え、埼玉サークル発足にあたり初代代表として、月例会での資料配付、会報の発行、暑中見舞い・年賀状を兼ねた行事案内はがきの送付、節目ごとの展示会「埼玉の鉄道展」の開催、「テトサ」というサークルの愛称等々、埼玉サークル運営スタイルの基礎を築かれました。

また、片仮名による横書きの普及を目指したカナモジカイの会員としても活躍され、月例会でカナモジの出席記念券を毎月配付されていたことを懐かしく思い出されます。



# 伊藤明世さん（1920-1984）

ヨシダさんの次の埼玉サークル代表として活躍されました。

埼玉県内鉄道史研究をライフワークとし、サークル月例会の内容充実、5周年記念の「第2回 埼玉の鉄道展」開催を陣頭指揮され、サークルの発展に大きな貢献をされました。

また、鉄道友の会東京支部内の地域サークルの発展充実にも情熱を傾けられました。



50年にあたり謹んで感謝の意を表します



鉄道友の会埼玉サークル